
聖なる夜に

リリィ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聖なる夜に

【Nコード】

N4393A

【作者名】

リリイ

【あらすじ】

クリスマスに彼女と一緒にパーティをする約束をしたはずなのに

…

（前書き）

B U M P O F C H I C K E N の星のアルペジオを題材にして書きました。

ヘタクソなので、上手く書けてないかもしれませんが、最後まで読んでいただけたら嬉しいです。

今日はあの有名な聖者の誕生日。

今日は彼女と二人で俺の家で、クリスマスパーティーをする約束をしている。

「ジュースよし。お菓子よし。ケーキよし！」

今俺はパーティーの準備をしている。

もう、俺の部屋はキラキラしている飾りや、かわいいサンタやトナカイのぬいぐるみなどが飾ってある。

俺の部屋は狭く、四畳半しかない。

「もう六時半か…」

彼女との約束は七時…あと三十分もしたら彼女が来て一緒にケーキ食べて、今日の為に買ったプレゼントを渡す…よし。完璧！

君が退屈しないためにギターを練習した。鼻めがねなんかも買ってみた。これで君は笑ってくれるだろうか？楽しんでくれるだろうか？カッチカッチカッチカッチカッチカッチカッチカッチカッチメトロノームの音が響く。

「…ちょっと着けてみよ」

うん。ピッタリ！

これは俺のためにあるんじゃないか？ってくらいピッタリだ！

「ああ〜早くこないかなあ」

俺は落ち着けず、君へのプレゼントを何度も持ったり置いたりした。

—1時間後—

…来ない…もう七時半なのに…遅れるのかな？

ジュースでも飲んでもうちよっと待ってみようかな。

ゴクゴクゴク…

「ぷはあ！」

気づけば俺は、1・5リットルジュースを二本程飲みほしていた。

俺はサンタのぬいぐるみを手に取った。

「なあサンタさんよ…早く俺の彼女を連れてきてくれよ」

飾った四畳半の中心で、俺はひとり鼻めがね。

二人分のケーキの前で頼ずえついでうたた寝さ…

—三十分後—

俺は彼女に電話することにした。

プルルルル…プルルルル…プルルルル…

『こちら留守番サービスです。ピーっという発信音のあとに、お名前、ご用件をお伝え下さい…』

ピー

「もしもし！パーティの準備できたよ！もうこっち向かってる？留守電聞いたら電話してください。」

ピー

―五分後―

プルルルル

「もしもしい？今こつち結構盛り上がってきた！結構ね…まあ…まだひとりなんだけど…この留守電聞いたら電話ください。じゃあねん！」

ピー

―また五分後―

プルルルル

「もしもしい！今あもう、だいたい飲み物…なんか俺ひとりで飲んじやったからあ、なんかもし飲みたいのあったら買ってきてえ！じゃあねい！」

ピー

―またまた五分後―

プルルルル

「おーい…もしもしい？えつと…何回か電話したんだけど…えつと…今日ね！だいたい何時でも…時間大丈夫だから、うん。いつでも電話してください。」

ピー

――またまたまた五分後――

ブルルルル

「もしもし！早く来た方がいいよこれ！俺が編み出した動きマジスゲエこれ！超ウケ…面白い！」

ピー

どうして電話も出ないんだ…この日のために何カ月も、練習したよアルペジオ…髪も染めたんだよ？
どうして…

――三十分後――

君へのプレゼント、自分で開けた…

「これ、高かったんだよなあ…」

俺は部屋の飾りをものすごい動きで取った。

そして、押し入れから着物を取り出して、

聖なる夜に正月の準備。

年越しはきつと誰かと…

トンガリ帽子と鼻めがね。

涙で濡れた鼻めがね。

曲がる鼻めがね。

俺の鼻めがね…

ブルルル

「もしもし？今のシーンマジすごいウケる！早く来た方がいいよ
」

ツーツーツー……

（後書き）

最後まで読んでくださってありがとうございます。

「ここは違うんじゃないか？」とか、「ここはこうした方が良かった」など、感想をお待ちします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4393a/>

聖なる夜に

2010年10月21日22時57分発行